



俳句

稲井爽秋 選

いそぎゆく青年遍路木の芽風 越智ゆり子
 美しく老いて行きたし花吹雪 青野義明
 花冷えの天井低き武家屋敷 藤崎 泉
 観音の水花片を浮かべけり 岡田久夫
 やり直しさかぬ人生松の花 高橋 和子
 紫陽花の昨日の色は忘れけり 伊藤つむぎ
 病癒え裏で草つむ日和かな 青野やよい
 春愁や後姿の夢二の絵 石原宏子

川柳

伊藤凡々 選

どの駅の駐輪場も泣いている 西原おさむ
 仕送りを断って子離れ親離れ 林マキ子
 狭くても癒してくれる四季の花 飯尾時子
 握手する苦勞した手が控えめに 藤原みっこ
 青い空白木蓮の舞を見る 藤田清子
 一病と付合う今朝の花菜漬 池田千賀子
 不手際も許し寛ぐ癒し宿 杉田知恵
 ゴミ置場人とカラスの知恵比べ 丹 博澄

短歌

田坂 幸 選

洗濯機の中に渦巻くわが野良着 藤崎 泉
 シャボンの泡に虹を浮かせて
 桜木のそばにありしか賜びし菜を 原田富美子
 水につければ花びらの浮く
 四方の花今満開と放送し 牧原あけみ
 列車は徐行す紀勢本線に
 榎場に日は射し入りて水底に 猪川ヨシ子
 網目なしつつ春光ゆらぐ
 うるほひし木々の息吹きか雨細き 藤原あい
 如月の夜の闇に匂へる
 古里の川のせせらぎ人恋うる
 思いに寄りてしばし聞きおり 関子宮子
 農婦たりし亡き友がくれし草帯 日野トミ子
 掃けばやさしもこの感触が
 たつぷりと花鉢に水含ませて 真鍋純子
 十日余りを留守にせんとす

■俳句・川柳・短歌作品募集

作品（俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください）・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに郵送・持参してください。

応募先 〒793-8601 明屋敷164

市庁舎本館 総務課 広報情報係

TEL 0897-56-5151 内線2128

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.14 私のウルルン滞在記

の心づかいは無駄にしないように、苦手な納豆を無理して水と一緒に流し込みました。乗り換え3回、1時間もかかるバスに乗り、最後に自転車に乗れないぐらい険しい坂を登って、学校に通いました。授業が終わったら、部活動で着付けなど日本の文化を学んだり、函館の市民や日本の大学生と交流したりして、友達と探検隊のように毎日新しいことを発見しました。その坂の前は海、後ろは山、登れば登る

ほど気に入り、今や世界中で一番好きな場所の1つになりました。

帰国したら、日本語をもっとしゃべりたい気持ちになり、大学で3年間勉強するより2カ月の留学のほうがインパクトがあることに気が付きました。何故かという、教科書で習えないものがたくさんあって、友情や思い出も教科書では得られないものでした。函館の留学経験のおかげで、今や日本で暮らし、西条で国際交流の仕事をしています。春休みに実施したスタディツアーはこういう思いで、人生の素晴らしい1つを西条の高校生に体験させてあげたかったです。



▲国際交流員 アイリーン・ユーチェン・リンさん 【写真右】

